

3 木材価格の動向

(1) 素材価格（丸太価格）（表18、図13）

素材価格は、国産材は年の前半は新設住宅着工戸数が前年を下回る状況が続いたが、年の後半に新設住宅着工戸数が回復したことにより、平成22年平均ではおおむね前年に比べて上昇した。外材は、年平均では北洋材が前年並みとなったが、米材は上昇傾向となった。

また、品目別の価格の動向は次のとおりである。

ア 「まつ中丸太」（径24.0～28.0cm、長3.65～4.0m）は、年の前半が低下傾向で推移し、年平均（1㎡当たり。以下同じ。）では1万2,900円で前年に比べて300円低下した。

イ 「すぎ中丸太」（径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）は、年間を通して上昇傾向で推移していたことから、年平均では1万1,800円で前年に比べて900円上昇した。

ウ 「ひのき中丸太」（径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）は、年の前半が低下傾向で推移したものの、年の後半が上昇傾向で推移していたことから、年平均では2万1,600円で前年に比べて300円上昇した。

エ 「米つが丸太」（径30.0cm上、長6.0m上、No. 3）は、年間を通して上昇傾向で推移し、年平均では2万4,200円で前年に比べて700円上昇した。

オ 「北洋えぞまつ丸太」（径20.0～28.0cm、長3.8m上）は、年の後半が比較的上昇傾向で推移したものの、年平均では2万4,000円で前年に比べて400円低下した。

表18 素材価格

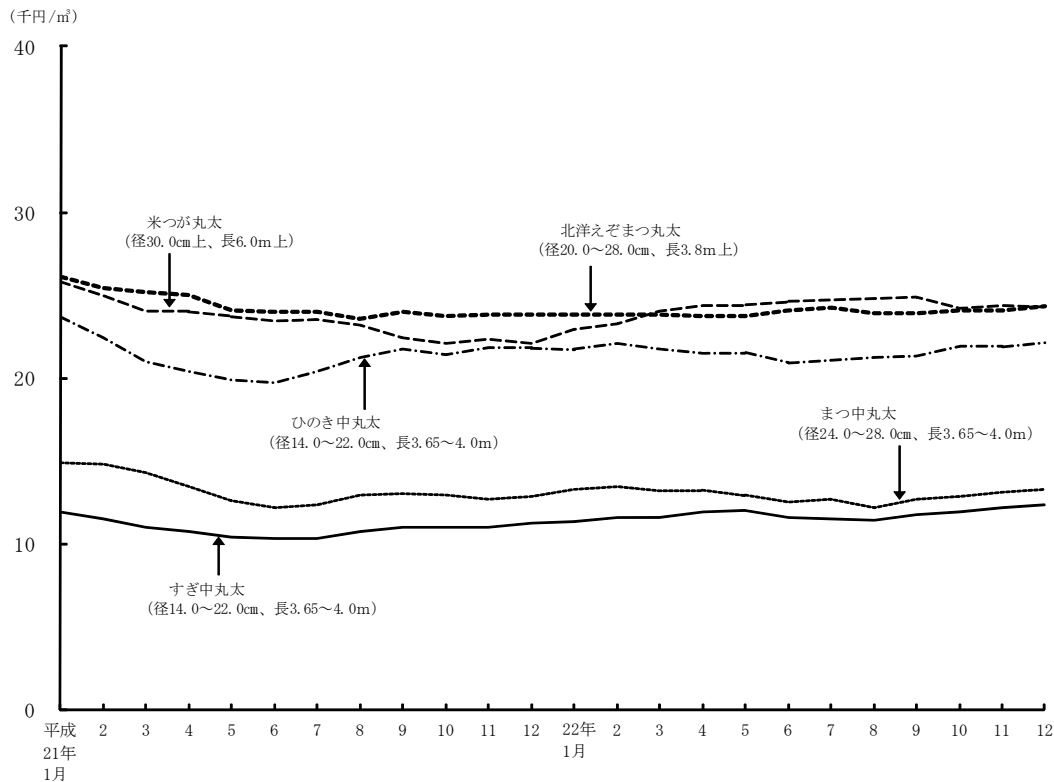
単位：円/㎡

年次	まつ	すぎ	ひのき	米つが	北洋えぞまつ
	中丸太	中丸太	中丸太	丸太	丸太
	径 24.0～28.0 cm 長 3.65～4.0 m	径 14.0～22.0 cm 長 3.65～4.0 m	径 14.0～22.0 cm 長 3.65～4.0 m	径 30.0 cm上 長 6.0 m上	径 20.0～28.0 cm 長 3.8 m上
	込 み	込 み	込 み	No.3	込 み
平均価格					
平成18年	…	1) 12,700	1) 26,500	1) 24,100	…
19	15,200	13,300	25,500	1) 27,200	23,600
20	14,300	12,200	23,600	27,300	23,000
21	13,200	10,900	21,300	23,500	24,400
22	12,900	11,800	21,600	24,200	24,000
対前年差					
平成19年	…	600	△ 1,000	3,100	…
20	△ 900	△ 1,100	△ 1,900	100	△ 600
21	△ 1,100	△ 1,300	△ 2,300	△ 3,800	1,400
22	△ 300	900	300	700	△ 400

注：平成19年1月から調査対象都道府県を変更したため、過年次価格の遡及ができない「まつ中丸太」及び「北洋えぞまつ丸太」については平成18年の価格を「…」とした。

1) が付いた価格は、調査対象工場への消費税の取扱いの確認が困難なため、消費税を含む価格と含まない価格を集計した結果である。

図13 素材価格の推移



(2) 木材製品卸売価格 (表19、図14)

木材製品卸売価格は、国産材製品は年の前半は新設住宅着工戸数が前年を下回る状況が続いたが、年の後半に新設住宅着工戸数が回復したことにより、平成22年平均ではおおむね前年並みとなった。外材製品は、おおむね前年並みとなった。

また、品目別の価格の動向は次のとおりである。

ア 製材品

- (ア) 「まつ平角」 (厚10.5~12.0cm、幅24.0cm、長3.65~4.0m) は、年間を通して安定して推移し、年平均では6万200円で前年と同じだった。
- (イ) 「すぎ正角」 (厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m) は、年の後半に上昇傾向となったものの、年間を通して安定して推移し、年平均では4万1,600円で前年に比べて100円低下した。
- (ウ) 「ひのき正角」 (厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m) は、年の後半が上昇傾向で推移したものの、年の始めにかなり低下したことから、年平均では6万4,900円で前年に比べて1,400円低下した。
- (エ) 「米つが正角 (防腐処理材)」 (厚12.0cm、幅12.0cm、長4.0m) は、年の始めに上昇したものの、年間を通して低下傾向で推移したことから、年平均では6万6,100円で前年に比べて700円低下した。
- (オ) 「北洋えぞまつ板」 (厚1.2~1.5cm、幅15.0cm、長3.65~4.0m) は、年間を通して安定して推移したことから、年平均では6万4,000円で前年に比べて200円低下した。

イ 合 板

「針葉樹合板」(厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m)は、年間を通して上昇傾向で推移したことから、年平均では910円で前年に比べて50円上昇した。

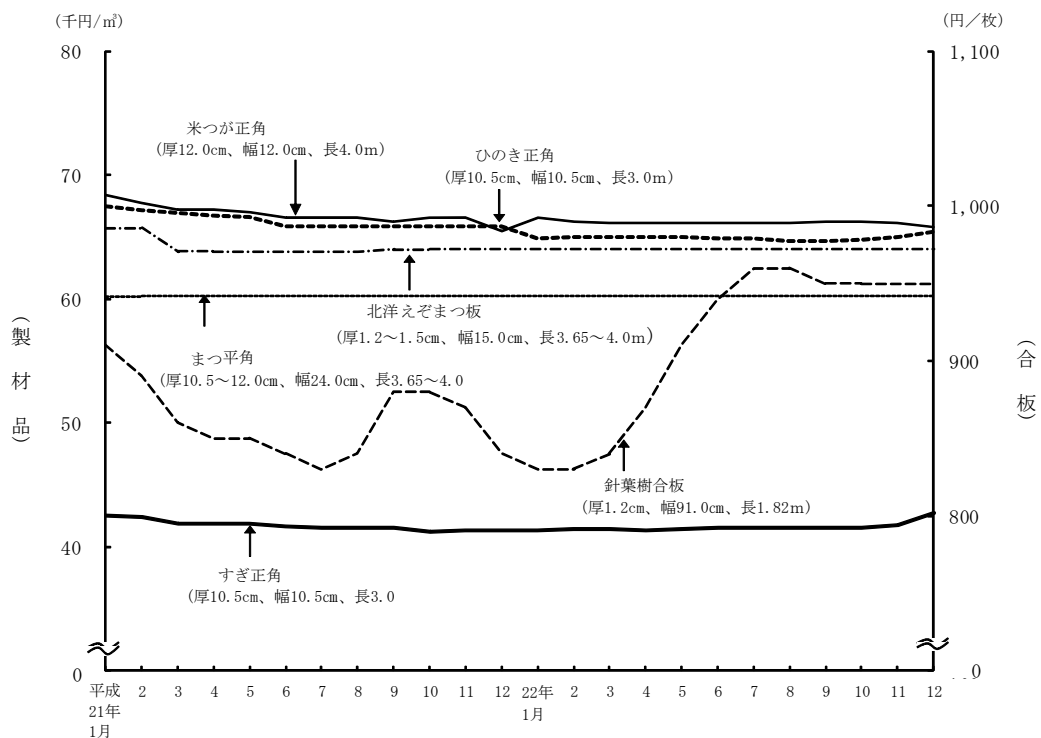
表19 木材製品卸売価格

年次	まつ平角	すぎ正角	ひのき正角	米つが正角 (防腐処理材)	北洋えぞまつ板	針葉樹合板
	厚 10.5~12.0 cm 幅 24.0 cm 長 3.65~4.0 m	厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 12.0 cm 幅 12.0 cm 長 4.0 m	厚 1.2~1.5 cm 幅 15.0 cm 長 3.65~4.0m	厚 1.2 cm 幅 91.0 cm 長 1.82 m
	2	2	2	2	1	1
平均価格	円/㎡	円/㎡	円/㎡	円/㎡	円/㎡	円/枚
平成18年	…	40,700	64,400	…	47,200	1,070
19	1) 54,300	42,900	69,600	68,300	1) 61,100	1,370
20	60,200	42,400	67,900	67,900	59,700	990
21	60,200	41,700	66,300	66,800	64,200	860
22	60,200	41,600	64,900	66,100	64,000	910
対前年差						
平成19年	…	2,200	5,200	…	13,900	300
20	5,900	△ 500	△ 1,700	△ 400	△ 1,400	△ 380
21	0	△ 700	△ 1,600	△ 1,100	4,500	△ 130
22	0	△ 100	△ 1,400	△ 700	△ 200	50

注：平成19年1月から調査対象都道府県を変更したため、過年次価格の遡及ができない「まつ平角」及び「米つが正角(防腐処理材)」については平成18年以前の価格を「…」とした。

1)が付いた価格は、調査対象工場への消費税の取扱いの確認が困難なため、消費税を含む価格と含まない価格を集計した結果である。

図14 木材製品卸売価格の推移



(3) 木材チップ価格

平成22年の木材チップの価格は、年の前半が低下傾向で推移したことから、年平均では針葉樹は1万2,700円で前年に比べて800円、広葉樹は1万7,600円で前年に比べて700円低下した。(表20、図15)

表20 木材チップ価格（パルプ向け）

単位：円／

年次	針葉樹	広葉樹
平均価格		
平成19年	1) 12,000	15,400
20	12,800	17,000
21	13,500	18,300
22	12,700	17,600
対前年差		
平成19年
20	800	1,600
21	700	1,300
22	△ 800	△ 700

注：平成19年1月から調査対象都道府県を変更したため、過年次価格の遡及ができないことから、19年以前の価格のみを調査した。
1)が付いた価格は、調査対象工場への消費税の取扱いの確認が困難なため、消費税を含む価格と含まない価格を集計した結果である。

図15 木材チップ価格の推移

